

2023 ~ 2024 年度国際ロータリーのテーマ

世界に希望を生み出そう

●会長 中島 祐爾

●幹事 緒方 公一

No.1845 令和 06 年 01 月 05 日 第 22 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <https://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org



～熊本市域 R C 新春合同例会～

司会 熊本グリーン R C S. A. A. 田中 純司

■開会・点鐘

(熊本グリーン R C 会長 江上 泰弘)

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリークラブソング「奉仕の理想」

(ソングリーダー 熊本グリーン R C 荒木 一之)

■ご来訪者及び参加クラブ紹介

(熊本グリーン R C 会長 江上 泰弘)

ご来賓

- | | |
|--|---------|
| 熊本県 副知事 | 田嶋 徹 様 |
| 熊本市 市長 | 大西 一史 様 |
| R I 第 2720 地区 パストガバナー | 永田 壮一 様 |
| R I 第 2720 地区 パストガバナー | 硯川 昭一 様 |
| R I 第 2720 地区 パストガバナー | 堀川 貴史 様 |
| R I 第 2720 地区 熊本第二グループガバナー補佐 | 渡邊 博之 様 |
| R I 第 2720 地区 熊本第三グループガバナー補佐 | 中尾 潤一 様 |
| R I 第 2720 地区 熊本第四グループガバナー補佐 | 四方美由紀 様 |
| 熊本県ロータリー奨学会 理事長 | 小野 友道 様 |
| 米山奨学生 コルワグ ティラーンサンダケルムフィナンド 様 (熊本 R C) | |
| 米山奨学生 オユンバト・ガンボルド 様 (熊本東 R C) | |
| 米山奨学生 迪利夫 様 (熊本中央 R C) | |
| 米山奨学生 徐 雯雯 様 (熊本 '05 福祉 R C) | |

参加クラブ紹介

- | | | |
|---------------|----------|-----|
| コ・ホストクラブ 熊本 | ロータリークラブ | 68名 |
| コ・ホストクラブ 熊本南 | ロータリークラブ | 44名 |
| コ・ホストクラブ 熊本東 | ロータリークラブ | 29名 |
| コ・ホストクラブ 熊本江南 | ロータリークラブ | 37名 |
| コ・ホストクラブ 熊本西南 | ロータリークラブ | 16名 |



コ・ホストクラブ 熊本北	ロータリークラブ	3名
コ・ホストクラブ 熊本東南	ロータリークラブ	26名
コ・ホストクラブ 熊本西	ロータリークラブ	5名
コ・ホストクラブ 熊本菊南	ロータリークラブ	12名
コ・ホストクラブ 熊本城東	ロータリークラブ	18名
コ・ホストクラブ 熊本中央	ロータリークラブ	23名
コ・ホストクラブ 熊本平成	ロータリークラブ	13名
コ・ホストクラブ 熊本西稜	ロータリークラブ	10名
コ・ホストクラブ 熊本水前寺公園	ロータリークラブ	6名
コ・ホストクラブ 熊本 '05 福祉	ロータリークラブ	6名
コ・ホストクラブ 熊本りんどう	ロータリークラブ	7名
ホストクラブ 熊本グリーン	ロータリークラブ	17名
合計		340名 (+来賓2名)

■会長代表挨拶

(熊本グリーン R C 会長 江上 泰弘)



ご来賓の皆様、そしてロータリアンの皆様 令和6年の新年、おめでとうございます。

本年の新春合同例会は、熊本グリーンロータリークラブがホストをしております。

恒例により 会長代表の挨拶をさせていただきます。

本日は、大変ご多忙のなか、ご列席いただきました御来賓の方々に厚くお礼申し上げますと共に日頃、ロータリーの活動に深いご理解とご協力をいただいておりますことに衷心より感謝申し上げます。また、ロータリアン各位におかれましても事業の繁栄とご一家お揃いでの新年をお迎えになられたことと存じます。心からお祝い申し上げます。

さて 昨年を振り返ってみますと 熊本では、TSMC の工場建設と沢山の関連企業の進出がありました。これからも進出企業が増えていくと思いますが、熊本経済に与える影響が、どのようなものか期待と不安が交錯しています。しかし人材確保と人件費の上昇の問題は、避けて通れないものと感じております。

そして年末には、大谷翔平の 1,015 億円の契約、国会では多額の裏金問題がありました。私には、縁のない金額のお話でした。

また、年が変わって元旦早々には能登半島で震度7の大地震が発生しました。忘れもしない8年前の熊本地震と同じ震度の大地震です。沢山の方が犠牲になられました、ご冥福をお祈りいたします。今後もどこで何が起こるか分かりません。

熊本でもここ数年の間に多くの災害が発生しました。私ごとになりますが、現在 細やかながらも奉仕活動ができる環境にあることに感謝しています。

田中作治元 RI 会長は、「奉仕を通して平和を」と言われています。ロータリークラブは「超我の奉仕」を第一標語として掲げています。この精神で奉仕の輪を広げていきましょう。

世の中では、他者への思いやりを欠いた自己主張や利他的行動があふれているように感じます。

争いのない楽しい笑顔のある世界を築くためにも奉仕の輪を広げていきましょう。

そして、最後にロータリーの職業奉仕のもととなる「四つのテスト」を、入会当時に帰って、当たり前のことではありますが、再確認したいと思います。

永田町にもこの「四つのテスト」を届けたいものです。これを持ちまして新春合同例会の会長代表挨拶とさせていただきます。

■ご来賓祝辞

(熊本県副知事 田嶋 徹 様)



熊本県知事 蒲島郁夫

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、素晴らしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

併せて、本日、熊本市域ロータリークラブの新春合同例会が盛大に開催されますことをお祝い申し上げます。また、日頃から県政の推進に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様が、崇高な奉仕の理念のもとに、それぞれの御職業において社会に貢献されるとともに、環境保全のための植樹や清掃活動、青少年の健全育成に関わる活動などに御尽力いただいていることに対し深く敬意を表します。

本年も引き続き、会員の皆様が相互の交流を一層深められ、活動の場を更に広げていかれますことを大いに期待しております。

さて、昨年は、「熊本地震」、「令和2年7月豪雨」、「新型コロナウイルス」という3つの困難を乗り越えるため、県庁一丸となって取り組んで参りました。

県庁の新防災センターや震災ミュージアム施設「K I O K U」（きおく）が完成し、南阿蘇鉄道が7年3か月ぶりに全線で運転を再開するなど、目指してきた熊本地震からの創造的復興の姿に着実に近づいています。

また、T S M C の進出を契機に、半導体関連産業の更なる集積を見据え、インフラ整備や地下水保全などに取り組んでいます。T S M C の進出効果が、県内全域における産業振興や経済成長に波及していくよう、これからも全力で取り組んで参ります。

今年はいよいよ4期16年にわたる蒲島県政の集大成を迎えます。「すまいの再建」など、残された課題に対して道筋をつけるとともに、今の良き流れを更に加速させ、50年、100年先の熊本の発展につながる飛躍の一年にしたいと考えています。

ロータリークラブの皆様におかれましては、引き続き、県政への御理解と御協力を賜りますよう、よろしく御願い申し上げます。最後になりましたが、熊本市域ロータリークラブの更なる御発展と会員の皆様の益々の御健勝・御活躍を心から祈念いたしまして新年の御挨拶といたします。

■ご来賓祝辞

(熊本市長 大西 一史 様)



熊本市長 大西一史

新年、明けましておめでとうございます。

本日、熊本市域ロータリークラブ新春合同例会が、このように多くの皆様のご臨席のもと、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

熊本市域ロータリークラブの皆様におかれましては、地域や青少年への支援活動や、ポリオ根絶への対策支援など、様々な社会貢献活動を展開されておられますことに、心から敬意を表する次第です。

さて、昨年は、長引くコロナ禍から市民生活も徐々に日常を取り戻し、本市では、2年連続で中止しておりました「熊本城マラソン」に加え、4年ぶりに「火の国まつり」や「江津湖火花大会」を開催するなど、コロナ禍からの脱却に向けて様々な事業が動き始めた1年となりました。

また、「こども局」を創設し、こどもを核としたまちづくりを進めるとともに、懸案の交通渋滞対策や地域経済の回復等に全庁をあげて取り組んでまいりました。

さらに、本年は、新たに策定する「熊本市第8次総合計画」に基づくまちづくりがスタートする大変重要な年でもあります。

本市では、T S M C の熊本進出を契機とした官民連携による産業用地の整備のほか、今後の活発な経済活動を支える「10分・20分構想」をはじめとする広域交通ネットワークの早期実現に取り組んでまいります。

加えて、こども局を中心に、結婚、妊娠、出産等の希望をかなえ、こどもの命と権利を守り、健やかな成長と安心して産み育てることができる環境を整備するなど、「誰もが憧れる上質な生活都市くまもと」の実現に向け、全力で邁進してまいりますので、皆様方には、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。結びに、本年が皆様にとりまして素晴らしい一年になりますことを、心から祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

■幹事代表報告

(熊本グリーン RC 幹事 山口 翼)



■1) 能登半島地震支援寄付金のお願いが膳所ガバナーより届いております。

年明け早々に起こりました、能登半島地震により甚大な被害が出ております。当地区は過去、熊本地震や九州北部豪雨などの際に全国多大なる支援を受けております。今回は私達が被災されている皆様へ早急な支援を行いたいと考えております。強制ではありませんが、各クラブより下記銀行口座に支援寄付金の振込みをお願いいたします。支援金送金の受付は2024年1月31日(水)迄とさせていただきます。

尚、2720地区からは「災害見舞積立金」より100万円を別途支援金として送らせて頂きたいと存じます。ご了承の程宜しく御願い申し上げます。

《支援金振込先》

熊本銀行 下通(沓)支店 普通 3106241

RI2720 災害見舞積立金 (アールエスナハクニョウサガ イマツス好キ)

2) 天草中央ロータリークラブより「創立40周年記念式典」の御案内が届いております。

日時：令和6年4月20日(土)

13:30～登録受付

14:00～15:30 記念式典

16:30～18:30 記念祝賀会

※諸事情により時間帯が変更になる場合があります。

会場：ホテルアレグリアガーデンズ天草

登録料：会員10,000円/同伴者8,000円

■閉会・点鐘

(熊本グリーンRC会長 江上 泰弘)

～懇親会～

司会 熊本グリーンRC会長エレクト 宮部 康弘

●アトラクション

(新町獅子舞保存会)



●乾杯

(RI第2720地区パストガバナー 永田 壮一)



●スマイル

報告

(熊本グリーンRCスマイル担当 田代 武)

「本日、熊本市域17ロータリークラブから集まりましたスマイルは、346,000円でした。

公益財団法人熊本県ロータリー奨学会の方へ寄付させていただきます」



●熊本県ロータリー奨学会へ目録贈呈

(熊本グリーンRC会長 江上 泰弘)

目録贈呈

熊本グリーンRC 江上 泰弘会長より
熊本県ロータリー奨学会 小野 友道
理事長へ



●各ロータリークラブよりのお知らせ

●閉会の辞

(熊本平成RC会長 森 貞二)



●ロータリーソング「手に手つないで」

(ソングリーダー 熊本グリーンRC 荒木 一之)



■出席報告

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
12月13日	42 (免2) 40	31	1	32	80.00
12月20日	42 (免2) 40	31	2	33	82.50
12月27日	休会				
01月03日	休会				
01月05日	42 (免3) 39	26			66.67

☆出席免除

12月13日
住江正治 島村徹男

12月20日
島村徹男 志賀重人

01月05日
住江正治 島村徹男 志賀重人

☆欠席者(8名)

12月13日 出先教明、井村宣敏、川崎直樹、小野川善久、
堤 勝也、武末直大、山本浩之、山坂哲生

多様性の時代のロータリー

投稿日：1月9, 2024 投稿者：Rotary Japan

19歳で入会した私が思うロータリーの可能性

寄稿者：佐京雄都（北本ロータリークラブ）

私が北本ロータリークラブ（埼玉県）に入会したのは、2017年でした。当時の私は19歳。父も祖父もロータリアンだったことから、ロータリーについて少しは知っている程度でした。しかし、そこまでの好印象ではありませんでした。小さい頃は、毎週木曜日の夜に祖父を奪っていくロータリーに恨みを感じていたほどです。

ハンブルグ国際大会の 本会議会場



印象が大きく変わったのは2019年のハンブルグ国際大会（ドイツ）に参加させていただいた時。そこで私は、多くの友人と出会いました。本会議では、隣に座っていたウガンダ人のフレッドをはじめ、周りの人たちとも自然と会話が進みました。現地の駅で東京からのロータリアンと偶然出会ったり、電車に乗れば隣にロータリアンの夫婦が座っていたりと、町のいたるところでロータリーのつながりを実感しました。

ITもロータリーも「人」をつなげるもの

私はスマートフォンアプリケーションの開発とデザインの仕事をしています。私たちは生活の中で画面に向かう時間が長くなりました。便利な生活を手に入れる反面、人に直接向き合う時間が短くなった、とおっしゃられる方もいます。

しかし、私はITの本質は人間同士のコミュニケーションにあると感じています。例えば、人びとが読めるようにパソコンで文章を書いたり、誰かに会いに行くために電車の乗り換えを調べたり、あまり会えない友達の元気な姿を見るためにSNSを使ったり。

インターネットの本質もまた、人間同士をつなげるコミュニケーションの道具です。

私は「人」こそがロータリーの面白さだと感じています。初めて行った異国の地で、異国の人間同士が思いがけないつながりを見つけたり、隣町のクラブと一緒に奉仕事業を進めることで仲良くなったり。喧嘩したり、イライラすることも、不安になることも多くあります。しかし、それもまた人間らしい。コンピュータにイライラはできませんから（笑）。



北本ロータリークラブでのポリオ根絶募金

私が所属する北本ロータリークラブは、たった8人の小さなクラブです。残念ながら、私たち会員の力だけで大きな事業を行うことはできませんが、地域の方々の力をお借りして奉仕事業を進めています。

もちろんクラブに入っていることによって、知り合いを広めることはできます。クラブが芯となって大きな事業を実施することもできます。これはとても重要なことです。しかし、ロータリーで知り合いを広める方法はクラブだけではありません。

ロータリーは型にはまらない

多くのクラブでメイクアップさせていただいて、クラブに色があることをとても感じます。きっちりとした雰囲気のあるクラブもあれば、北本のようなアットホームなクラブもある。それもまた、人によって作り上げられた文化なのだと思います。多様性が語られる時代です。

「ロータリークラブ」はもっと粘土のような組織になってもいいかもしれない。こねればこねるほど、形は常に変化します。乾けば水を足すこともできる。一部を切り離して、別のものにくっつけることだってできる。多くの力が必要な時、モノリス（一枚岩）になれるのです。

正直、「ロータリーって何？」と聞かれると私はうまく答えることができません。私からすると「あれもこれもロータリー」です。あなたもロータリーです。私は入会した年のテーマである「Rotary: Making a difference」（ロータリー：変化をもたらす）がとても好きです。ロータリーは社会の、人の感情の、行動の違いや変化をどのようにして受け入れ、どのようにして作り上げていくのでしょうか。これからが楽しみです。

私たち北本ロータリークラブの活動の一例を動画でご覧ください。



石戸城址未来桜～50年後の桜を植えよう・観よう～

【寄稿者プロフィール】

佐京雄都（さきょう ゆうと）

埼玉県在住。1997年生まれ。2017年に北本ロータリークラブ（第2770地区）入会。2021-2022年度クラブ会長。ローターアクトの友人からのあだ名は「さっきょん」

ロータリーボイスより